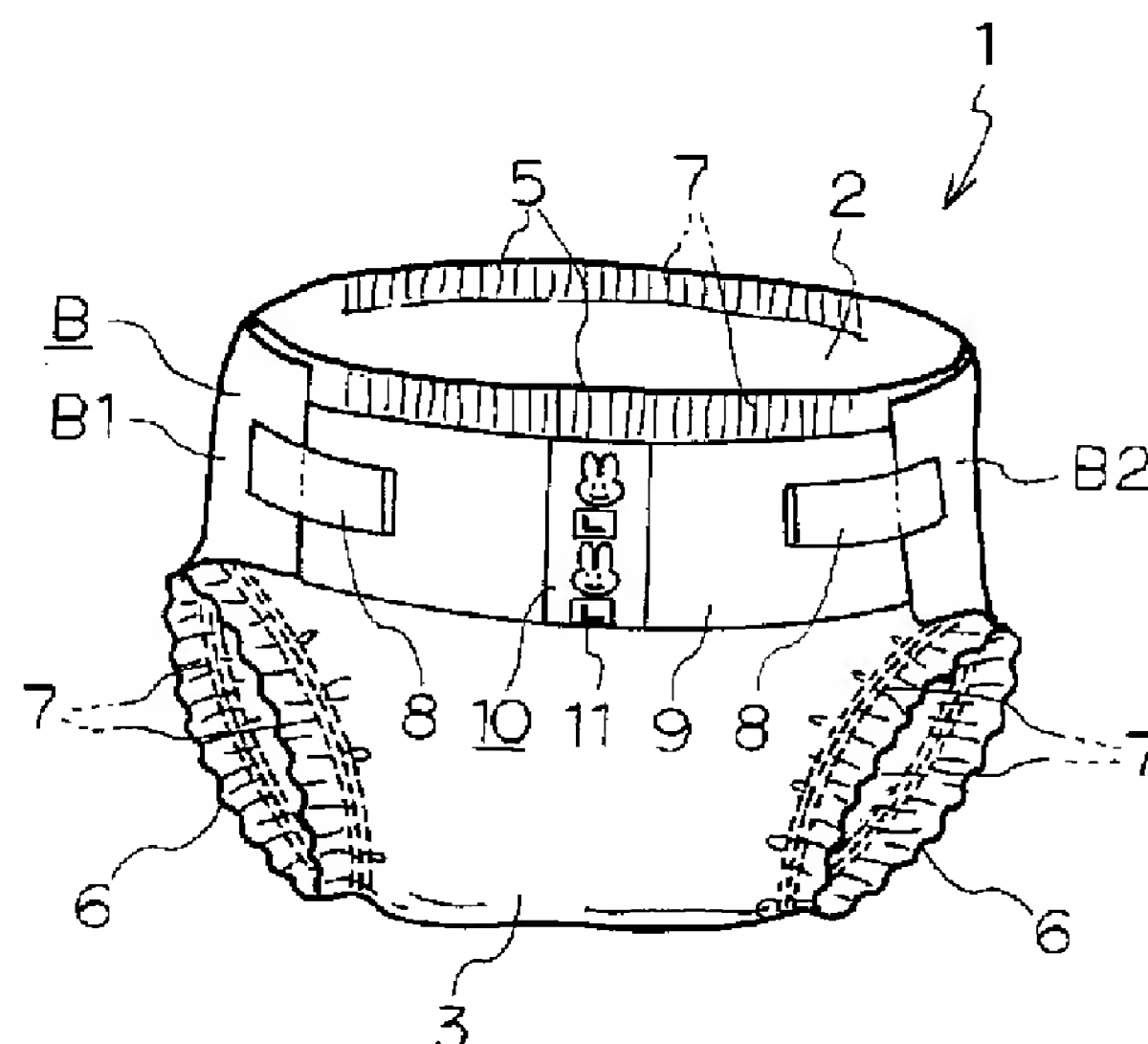


(11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成9年(1997)9月22日

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号	特願平8-57974	(71)出願人	000000918 花王株式会社 東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目14番10号
(22)出願日	平成 8 年(1996) 3 月14日	(72)発明者	樋田 治三 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会 社研究所内
		(72)発明者	柳原 茂人 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会 社研究所内
		(74)代理人	弁理士 羽鳥 修 (外 1 名)



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面シート、液不透過性の裏面シート及びこれら両シート間に介在する吸収体を有し、背側部の左右両側縁部に、機械的ファスナーの凸部材又は凹部材を具備してなるおむつ止着用のファスニングテープが設けられており、腹側部の該裏面シート上に該ファスニングテープと係合されるランディングテープが配されている、展開型の使い捨ておむつにおいて、上記ランディングテープには、その長手方向略中央部に、おむつの使用時には上記ファスニングテープの係合位置確認用の目印として用いられ且つおむつの使用後は廃棄時止着用の廃棄テープとして用いられる、細帯状のテープ部材が、その長手方向を該ランディングテープの幅方向に向けて着脱自在に配されていることを特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項2】 上記テープ部材は、上記ランディングテープとは異なる色を有しており、その長手方向全体に亘って連続又は不連続の模様が付されていることを特徴とする請求項1記載の使い捨ておむつ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、使い捨ておむつに関し、更に詳細には、衛生的に廃棄処理ができる使い捨ておむつに関する。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】従来より、使い捨ておむつとしては、液透過性の表面シート、液不透過性の裏面シート及びこれら両シート間に介在する吸収体を有し、背側部の左右両側縁部に、機械的ファスナーの凸部材又は凹部材からなるおむつ止着用のファスニングテープが設けられている、いわゆる展開型の使い捨ておむつが広く用いられている。

【0003】しかし、このようなファスニングテープとして機械的ファスナーを用いた使い捨ておむつにおいては、該機械的ファスナーが、通常の粘着テープからなるファスニングテープのように、おむつの如何なる部位にも貼着できるものではないため、おむつ使用後に廃棄処理する際に、おむつを丸めた状態で止着することが困難であった。このため、従来の機械的ファスナーからなるファスニングテープを有する使い捨ておむつにおいては、使用後のおむつを衛生的に廃棄することができないという問題があった。

【0004】従って、本発明の目的は、機械的ファスナーからなるファスニングテープを有する使い捨ておむつにおいて、衛生的に廃棄処理をすることができる使い捨ておむつを提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、液透過性の表面シート、液不透過性の裏面シート及びこれら両シート間に介在する吸収体を有し、背側部の左右両側縁部に、

機械的ファスナーの凸部材又は凹部材を具備してなるおむつ止着用のファスニングテープが設けられており、腹側部の該裏面シート上に該ファスニングテープと締結されるランディングテープが配されている、展開型の使い捨ておむつにおいて、上記ランディングテープには、その長手方向略中央部に、おむつの使用時には上記ファスニングテープの係合位置確認用の目印として用いられ且つおむつの使用後は廃棄時止着用の廃棄テープとして用いられる、細帯状のテープ部材が、その長手方向を該ランディングテープの幅方向に向けて、着脱自在に配されていることを特徴とする使い捨ておむつを提供することにより、上記目的を達成したものである

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の使い捨ておむつを添付図面を参照して更に詳細に説明する。図1は、本発明の使い捨ておむつの第1の形態を示す斜視図であり、図2は、図1に示す使い捨ておむつにおけるランディングテープの拡大平面図である。また、図3は、図1に示す使い捨ておむつを廃棄する態様を示す概略図である。

【0007】本形態の使い捨ておむつ1は、図1に示すように、液透過性の表面シート2、液不透過性の裏面シート3及びこれら両シート2、3間に介在する吸収体（図示せず）を有し、背側部Bの左右両側縁部B1、B2に、機械的ファスナーの凸部材を具備してなるおむつ止着用のファスニングテープ8が設けられており、腹側部Aの該裏面シート3上に該ファスニングテープ8と係合されるランディングテープ9が配されている、展開型の使い捨ておむつである。

【0008】更に詳細に説明すると、本形態の使い捨ておむつ1は、吸収体が股下領域が縊れた砂時計状に湾曲形成され、表面シート2及び裏面シート3も吸収体の形状に即して股下領域が上述の如く湾曲形成されており、該吸収体は、表面シート2及び裏面シート3により挟持・固定されている。また、上記吸収体の周縁部におけるウエスト部5とレッグ部6とには、おむつを着用した際に、着用者にウエスト部5とレッグ部6とをフィットさせるための弾性伸縮部材7が表面シート2と裏面シート3とにより固定されて設けられている。このような構成は、従来の展開型の使い捨ておむつと同じである。

【0009】また、上記ファスニングテープ8、8は、それぞれ、裏面シート側に貼着されており、非使用時には、止着部8aが、上記表面シート2と剥離自在に粘着されている。また、上記ランディングテープ9は、機械的ファスナーの凹部材により形成されている。

【0010】次に、上記使い捨ておむつ1を構成する各部材の形成材料について説明する。上記表面シート2としては、排泄物を吸収体へ透過させる液透過性シートで肌着に近い感触を有したものが好ましく、このような液透過性シートとしては、例えば、織布、不織布、多孔性フィルム等が好ましく挙げられる。また、表面シート2

の周縁にシリコン系油剤、パラフィンワックス等の疎水性化合物を塗布する方法や、予めアルキルリン酸エステルのような親水性化合物を全体に塗布し、周縁を温水で洗浄する方法により、撈水処理を施し、周縁における尿等の滲みによる漏れを防止することができる。

【0011】また、上記裏面シート3としては、熱可塑性樹脂にフィラーを加えて延伸した液不透過性かつ蒸気透過性のフィルムシート、または繊維集合体が用いられる。

【0012】また、上記吸収体としては、解繊パルプを主材とした高分子吸水ポリマーを併用したものが好ましい。該高分子吸水ポリマーは、上記吸収体の上層、中層、下層のいずれに存在させてもよく、また、パルプと混合したものであってもよい。また、該高分子吸水ポリマーは自重の20倍以上の液体を吸収して保持し得る保持性能を有し、ゲル化する性質を有する粒子状のものが好ましく、このような高分子吸水ポリマーとしては、例えば、デンプン-アクリル酸(塩)グラフト共重合体、デンプン-アクリロニトリル共重合体のケン化物、ナトリウムカルボキシメチルセルロースの架橋物、アクリル酸(塩)重合体などが好ましく挙げられる。

【0013】また、上記弾性伸縮部材7としては、糸ゴム、平ゴム、フィルムタイプの弾性材あるいはフィルム状の発泡ポリウレタン等が好ましく挙げられ、50%伸長時の応力が40~150グラムのものが好ましい。

【0014】上記ファスニングテープ8を形成する上記の機械的ファスナーの凸部材としては、「マジックテープ」(登録商標、ベルクロ社製)、「クイックロン」(登録商標、YKK社製)、「マジクロス」(登録商標、カネボウベルタッチ社製)等、鍵状やキノコ形状などの凸状の係合部材が多数付設されてなるシート等の公知の(市販の)メカニカルホックテープの凸部材を特に制限なく用いることができる。また、上記ランディングテープ9を形成する上記の機械的ファスナーの凹部材としては、不織布等の繊維シートその他、「トリコット」(商品名、クラレ社製)等が用いられる。

【0015】而して、本形態の使い捨ておむつ1は、図1及び図2に示すように、上記ランディングテープ9には、その長手方向略中央部に、おむつの使用時には上記ファスニングテープ8の係合位置確認用の目印として用いられ且つおむつの使用後には廃棄時止着用用に使われる、細帯状のテープ部材10が、その長手方向を該ランディングテープ9の幅方向に向けて、即ち、該テープ部材10の長手方向と該ランディングテープ9の長手方向とが直行するように着脱自在に配されている。

【0016】更に詳述すると、上記テープ部材10の長さは、上記ランディングテープの幅とほぼ等しくなるようにするのが好ましく、また、幅は、0.3~2.5cmとするのが好ましい。

【0017】また、上記テープ部材10は、上記ランデ

ィングテープ9とは異なる色を有しており、その長手方向全体に亘って連続の模様11が付されている。具体的には、上記ランディングテープ9は白色であるのに対して、上記テープ部材10は、薄い緑色に形成されている。また、該テープ部材10には、ウサギ形状の模様11aと、おむつのサイズを示すL字型の模様11bとが交互に連続して付されている。このように、ランディングテープ9と異なる色が付されており、且つ模様11が付されていることにより、目印として認識し易さが一段と向上する。

【0018】また、上記テープ部材10は、テープ基材の裏面(ランディングテープ9と当接する面)に粘着剤が塗布されて、また印刷処理が施されて着色及び模様が付されて、形成されている。上記テープ基材としては、ポリエチレン、ポリエステル、ポリプロピレン/ポリエステルブレンド品等が用いられる。また、上記粘着剤としては、SIS(スチレン・イソプレン・スチレン)やSBS(スチレン・ブタジエン・スチレン)などのスチレンエラストマーをベースにしたホットメルト粘着剤、及びアクリル系の粘着剤等が用いられる。また、上記印刷処理は、通常の印刷方法を特に制限なく用いて行うことができる。

【0019】そして、上記使い捨ておむつ1を使用するには、先ずおむつの着用時には、図1に示すように、上記テープ部材10を目印にして(即ち、ランディングテープ9の中央部を確認して)、上記ファスニングテープ8を上記ランディングテープ9上に貼着して、おむつを止着し、おむつを着用・使用する。そして、おむつの廃棄時には、図3に示すように、上記テープ部材10を上記ランディングテープ9から剥離させ、おむつ1を丸めた後、剥離させた該テープ部材10でおむつを丸めたまま丸めた状態で止着し、廃棄処理する。

【0020】本形態の使い捨ておむつ1は、上記テープ部材10を有しているので、おむつの使用時にはファスニングテープ8の係合位置を左右均等にすることが容易であり、締め付けすぎたり、左右何れかに偏って止着したりすることが防止できる。また、おむつの使用後には、おむつ1を丸めたままの状態でも衛生的に且つ容易に廃棄処理することができる。

【0021】尚、本発明の使い捨ておむつは、上述の図1及び図2に示す形態には何ら限定されるものではなく、例えば、上記ファスニングテープ8を上記凹部材で形成し、上記ランディングテープ9を上記凸部材で形成することもできる。また、上記模様は、不連続に設けてもよく、更には設けなくてもよい。尚、「不連続」とは、例えば、上記のウサギの模様11aを一つのみ設けるような場合を意味する。

【0022】

【発明の効果】本発明の使い捨ておむつは、機械的ファスナーからなるファスニングテープを有する使い捨てお

むつにおいて、衛生的に廃棄処理をすることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の使い捨ておむつの第1の形態を示す斜視図である。

【図2】図2は、図1に示す使い捨ておむつにおけるランディングテープの拡大平面図である。

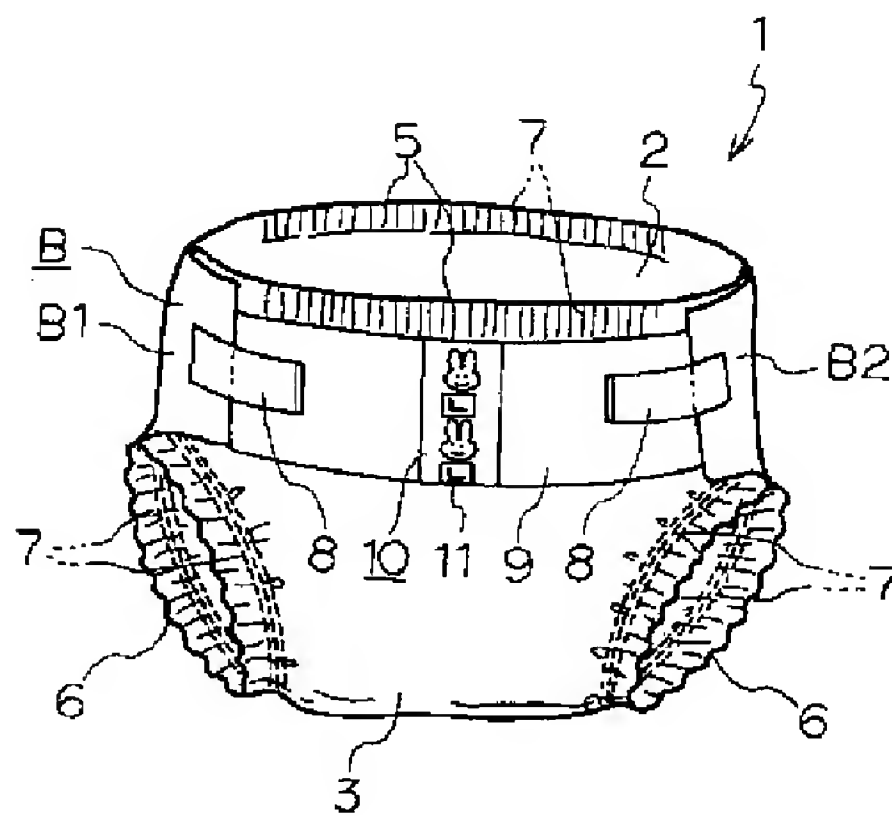
【図3】図3は、図1に示す使い捨ておむつを廃棄する様様を示す概略図である。

【符号の説明】

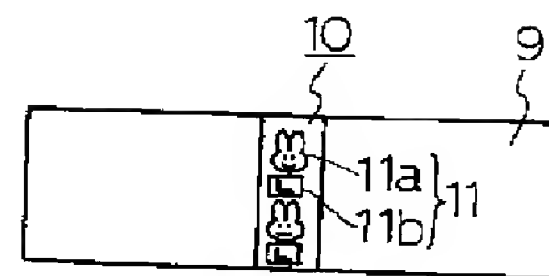
1 使い捨ておむつ

2 表面シート  
3 裏面シート  
4 吸収体  
5 ウエスト部  
6 レッグ部  
7 弾性伸縮部材  
8 ファスニングテープ  
9 ランディングテープ  
10 テープ部材  
A 腹側部  
B 背側部

【図1】



【図2】



【図3】

